

青少年交換プログラムの流れ【1】

国際ロータリー第2640地区 青少年交換委員会

	地区	クラブ	学校
5月	各クラブに次々年度の受け入れ学生の募集を始めるよう促す。地区協議会で概略説明。	地域の学校へ交換プログラムの案内をする。	クラブから届いた募集要項を掲示する。
6月	応募の受付	学校で応募者があれば学生と面接を行い、理事会でスポンサークラブになる決議をする。	応募者があれば関係のクラブに申し出る。仮申請書は直接G事務所に送れない。
7月	〆切は7/31厳守		
8月	スポンサーRCに試験日の通知をする。次年度、受け入れのみ可能なクラブを探す。	試験日等のお知らせを学校に送る。地区委員会に仮申請書を送付する。学生に選考試験の通知	試験に関する情報を学生に知らせる。
9月	派遣学生のための選考試験を実施する。試験科目は、英語、小論文、面接。欠席者は失格。申請書必要部数の発注。	再度、試験日の確認を行なう。試験会場への同伴は不要。保護者は説明会参加のため学生に同伴。	
10月	試験結果をクラブに通知する。第1回オリエン案内をする。アメリカ等希望者の多い地区に受け入れ要請をしておく。	試験結果を学生と学校に知らせる。第1回オリエンテーションの案内をする。クラブ青少年交換委員長会議。	試験結果を学生に知らせる。第1回オリエンテーションの案内をする。
11月	派遣先の調整をする。学生に申請書を作成させる。担当委員がクラブに送付し必要な署名を得る。	申請書に会長・幹事の署名をする。学生を例会に招き、自己紹介・抱負などを語らせる。学生のカウンセラーを選任する。	申請書に学校長の署名、校印。学生の成績証明書の作成。できればこの頃に一度クラブを訪問し情報を交換しあう。
12月	交換決定地区へ申請書を送る。未決地区との連絡。派遣学生第2回オリエンテーション	受入学生との第2回交流会に参加させる。クリスマスの頃。	派遣先が決定した学生にはその国の言語・風習・歴史などを学ばせる。
1月	相手地区との連絡を密にする。短期交換希望クラブの募集。交換先をさがす。	短期交換を希望するクラブは、地区委員会に申し出る。	
2月	早ければこの頃に相手地区から受入学生の申請書が届く。派遣学生への第3回オリエンテーション。	派遣学生のオリエンテーションについての案内を学生に送る。受入が決まればホストカウンセラーを選任する。	
3月	受入学生の申請書が届き次第、ホストRCの選定と受入依頼をする。長期派遣学生の制服・名刺・バッジ手配。	地区から受入学生のホスト要請があれば協力をする。性別・国籍・人種を理由に断らない。	受入学生のホスト高校になることを正式に決める。GFの署名等。受入学生の学年・クラスなどを決定する。
4月	相手地区から派遣学生のGFが届けばJTBに送付する。同時に受入学生のGF完成の手続きをとる。	第2回青少年交換委員長会議 受入学生のビザ申請に必要な書類に関係者の署名を集める。	派遣学生が相手国のホスト家庭と連絡をとるのを手伝う。
5月	派遣学生のための第4回オリエンテーション実施。短期交換の準備をする。	派遣学生にオリエンテーションの案内をする。短期交換学生の募集。	
6月	フライトスケジュール等につき相手地区と最終連絡。	受入学生のホスト家庭選定作業に入る。できれば4家庭を見つける。	受入学生のホスト家庭をさがすクラブに協力をする。
7月	派遣学生第5回最終オリエンテーションで旅券・航空券・乗り換え等の最終確認をする。到着確認。短期交換学生の到着・出発等の確認。	出発前に例会に出席させ、出発前のスピーチをさせる。空港まで見送る。到着確認を行なう。短期交換学生の到着・出発等の確認。	出発前の注意などを与える。

青少年交換プログラムの流れ【2】

国際ロータリー第2640地区 青少年交換委員会

	地区	クラブ	学校
8月	到着確認をする。受入学生へのオリエンテーションを実施。短期派遣学生の帰国確認をし、その報告会を開く。	受入学生の出迎えをする オリエンテーションに出席させる 例会に出席・スピーチをさせる 制服・教材等の準備、保険・外人登録・市長表敬訪問	学生と面接、学校生活の情報を与える。
9月	受け入れ学生に英文で1年間の大きな行事予定を知らせる。	できれば日本語を習得させるための計画を立てる。国際交流協会などの日本語教室などを利用。	学校生活開始。国語の古典などは受け入れ学生にとっては理解出来ないため、他の授業を受けさせてもよい。
10月	次年度派遣予定の学生との交流会で自国の情報を提供し、自国のPRも行う。他の受入学生やROTEXとの交流も。	研修会に参加をさせる。クラブカウンセラーは受入学生が生活になじめるよう相談に乗る。クラブ交換委員長会議。	この頃に修学旅行を実施する学校が多い。日本の各地を知るために是非参加をさせる。参加費はクラブ負担だが、行き先が海外である場合には学生に一部を負担させてもよい。
11月			
12月	次年度派遣予定の学生ROTEXとの交流。南半球長期受入学生修了証書授与式。	南半球からの学生を受け入れているクラブは修了証書授与式に学生を出席させる。	
1月	日本の首都である東京を見学させる。	南半球長期受入学生帰国。	
2月	受入学生のホスト家庭・ホストカウンセラー懇談会。	受入学生のホスト家庭・ホストカウンセラー懇談会。	
3月			
4月	クラブ青少年交換委員長会議。	クラブ青少年交換委員長会議。今年度の交換についての問題点を話し合うと共に、次年度の交換についての説明を受ける。	
5月	広島(宮島・原爆資料館等)その他の場所を見学させる。		
6月	初旬に、ホストファミリーの一覧表を作成し、感謝状と修了証書の準備をしておく。	学生の両親が来日を希望する場合、この頃が最も望ましい。	
7月	受入学生の修了証書授与式。ホストファミリーへの感謝状授与。受入学生帰国。	地区の修了証書授与式に出席させる。送別会を開く。空港にて見送り。到着確認。	受入学生の履修証明書を発行し学生に交付。学生を帰国させる。
8月	派遣学生の帰国報告会。ROTEXへの加入と活動の説明を受ける。	派遣学生の帰国出迎え。地区での帰国報告会の案内。	学生は、担任等、関係の先生に帰国の報告。